

令和7年第1回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和7年3月定例会

順序	議員名	要 旨
1 番	佐藤 立	<p>1 町民の移動ニーズの持続可能な確保にむけて</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>ふれあいバス等の公共交通機関、スクールバス、タクシー、ライドシェア等町民の移動の足となるすべての手段を含め、町民の移動ニーズを持続的に確保する新しい交通体系を一体的に構築する必要があるのではないか。</p> <p>【質問項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後、町民の移動ニーズを持続的に確保するにあたって、どのような課題があると考えているか。 (2) ふれあいバス等の公共交通機関、スクールバス、タクシー、ライドシェア等町民の移動の足となるすべての手段を含め、町民の移動ニーズを持続的に確保する新しい交通体系を一体的に構築する必要があるのではないか。 (3) 北海道医療大学の移転を1つの機会ととらえて、2028年4月に新しい交通体系へ移行できるよう具体的な準備を始める必要があるのではないか。 (4) 新しい交通体系の検討に当たっては、バス、タクシー等の運行事業者、町、教育委員会、町民等が参加した検討の場を設けてはどうか。 (5) 新しい交通体系の検討に当たっては、スクールバスを含め、現在の運行体制や利用方法を当然の前提とせず、聖域を設けない抜本的な検討が必要ではないか。 (6) 新しい交通体系の検討に当たっては、検討状況を逐次公表し町民の理解増進に努めることが必要ではないか。

2番	櫻井 紀栄	<p>1 当別のこども施策について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>国で整備の遅れている養育費の確実な保証と、大雪と強風、昨今の猛暑日の環境下にある中でも、小さいこどもから高齢者までが過ごせる自宅以外の居場所づくりの整備が喫緊の課題であることから伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 養育費の確実な保証について</p> <p>① ひとり親家庭等養育費確保事業支援事業について</p> <p>近隣の札幌市では、確実に養育費を保証するために、裁判外紛争解決の手続きの利用・公正証書の作成・養育費保証契約の締結・強制執行申し立ての4つの費用について国の補助金を利用し一部補助を行っている。当別でも実施すべきでは。</p> <p>② 養育費の立替制度について</p> <p>明石市で実施している立替制度について、国の整備を待たず早急に当別でも実施すべきでは。</p> <p>(2) 自宅以外の居場所づくりの整備について</p> <p>① HIRARI 計画案の中にもこどもの居場所や遊び場の在り方を検討事項として盛り込まれたが、こどもの居場所に児童館や屋内遊戯施設は含まれるのか。</p> <p>② こどもの居場所や遊び場の在り方について、今後どのような検討を行っていくのか。</p> <p>③ 児童館や屋内遊戯施設をつくることを課題としてどのように捉えているのか。</p>
----	-------	---

3番	五十嵐信子	<p>1 病児・病後児保育事業について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>子育て世帯において、育児と仕事の両立に苦労されている方が増えている。特に子どもが病気や突然の体調不良時、仕事への影響につながるため不安が大きい。保護者が安心して仕事に専念できる環境を整備することが重要と考える。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) ファミリー・サポートセンター事業の、病児・病後児預かりの現状と実施状況・利用者数について伺う。</p> <p>(2) 現在、病児・病後児預かりの運営における課題や問題点はあるか、会員が利用しやすいよう改善に向けた具体的な対策は検討されているのか伺う。</p> <p>(3) 病児・病後児保育事業の導入を望む声があるが、町としての方針を伺う。</p> <p>2 在宅医療と介護連携推進事業について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>2025年超高齢社会を迎えた。医療や介護が必要な状態となっても住み慣れた地域で安心して暮らし、誰もが希望の人生の最期を迎えることが出来る環境を整えていくことが重要と考える。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 在宅医療と介護連携推進事業において、町の在宅医療と在宅看取りの状況と支援体制、また課題について伺う。</p> <p>(2) 終活についての講座や看取りの講座など開催され、講座内容の関心が少しずつ深まってきているのではないかとと思われる。町民のニーズをどのように捉えて、取り入れていくのか伺う。</p> <p>(3) 在宅医療支援や在宅での看取り支援について、さらに今後どのような取り組みを進めていくのか町長の見解を伺う。</p>
----	-------	---

4 番	稲村 勝俊	<p>1 転入増大が予測される在留外国人の共生と課題について 【質問のねらい】 国は、入管法を改正し外国人労働者の受け入れが拡大したが、地方自治体に於いては受け入れ体制が整っておらず課題、問題点が報告されている。当別町での現状と対応について。 【質問項目】 (1) 人口急減時代にあつて外国人依存度は高まり、当別町でも在留外国人は増加傾向にあると考えられる。当別町においてもパキスタン人など外国人との共生を更に促進することについて伺う。 (2) 外国人割合は当別町も急増が想定されます。移民先進国では多くの国で弊害が顕在化し移民制限を進めようとしている。当別町の将来を見据えた方向性の検討について伺う。</p> <p>2 西当別風力発電所建設計画反対の現状について 【質問のねらい】 西当別風力発電所建設計画は、最終段階に入り準備書の手続きに入っている。事業中止を決断させる最終段階と思われるが進捗状況と今後の見解について伺う。 また、外国資本による土地取引の在り方について伺う。 【質問項目】 (1) 以前の、風力発電計画反対の芳形議員の質問に、地域の声、議会の意向を国、道にしっかり届けていくと答弁し実行されているが、中止決定がされていなければ改めて町民、関係機関、団体と連携し国、道、事業者等に届けることが必要ではないか。 (2) 当別町での外資等の土地取引は把握されているのか。 (3) 西当別変電所の周辺地も大規模な土地取引が進んでいると伺っている。外国資本への土地取引は慎重であるべきと考えるが、当別町の考え方、町民への意識啓発について伺う。</p> <p>3 水田政策の見直しによる対応について 【質問のねらい】 水田活用の直接支払交付金の5年に1度の水張り要件を条件としない方針を農水省が示した、一部歓迎でも方針転換は農家にとって混乱を招いている等から、持続性のある当別町農業の方向性確立の模索について。 【質問項目】 (1) 持続可能な安定した当別農業の為に交付金に頼らない水田耕作を現在耕作率24%から北海道耕作率程度に目標を段階的に引き上げる事が有効と考えるが、検討できないか。 (2) 水田インフラの維持を、地域で公平に負担することを継続する為、当別町の米産地としての産地形成をより確かに確立し、安定供給を図り、ブランド力を高める為、全面転作の解消を進める事は検討できないか。</p>
-----	-------	--

5番	角田 広佑	<p>1 四季の魅力を発信する観光振興策の推進について</p> <p>【質問のねらい】 当別町の四季折々の模様に順応した観光施策について、特に冬場における当別町の新たな観光資源創出の是非について伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 町では観光協会において四季それぞれの魅力をインターネットやSNS、更には情報誌等で発信しているが、特に冬場の観光情報等の発信が少ないと感じる。冬場の厳しい環境をも魅力を感じるプロモーションを行うべき。冬場の観光客の入込増加策について、町長の考えを伺う。</p> <p>(2) 初夏から晩秋にかけ、町の自然環境や田園は様々な姿を見せてくれる。特に山間部では、濃緑から紅葉への変遷を楽しむため、たくさんのドライバーやライダーがリピーターとして訪れている。魅力的なドライブコースの設定や、新たな観光スポットやフォトスポットのPRなどを積極的に行ってはいかがか。町長の考えを伺う。</p> <p>2 消費者被害対策の強化について</p> <p>【質問のねらい】 当別町内で特殊詐欺被害事件が同日に複数発生した。今後詐欺被害に遭わないためのより一層の啓発や、詐欺撲滅についての考え方を質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 2月28日、町職員を装う者による特殊詐欺被害事件が複数発生した。町では既に注意喚起をホームページや広報等を行うほか、老人クラブ等への出前講座などで啓発を行っている。にもかかわらず今回事件が発生し、被害者が出た。より効果的で実効力のある対策を構築するべき。具体策について町長の考えを質す。</p>
----	-------	---

6番	山崎 公司	<p>1 職員定数及び評価管理制度について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>現在の一般職員数は 200 名程度。6 次総合計画を確実に達成する為、今後の職員定数の考え方を伺う。職員の町内居住率を高める促進への取り組みと人事評価制度、ストレスチェック等の実施状況について伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 当別町第 6 次総合計画を確実に達成する事が重要との認識です。現状人数で十分機能が果たされているのか。住民サービスに支障がないよう、総合的・長期的な視点での職員採用に努めていく事が重要と考える。今後の職員定数の考え方について伺う。</p> <p>(2) 職員の町内居住率の増減と促進への取り組みについて伺う。</p> <p>(3) 人事評価制度、自己申告制度を導入されているが、評価の低かった職員の指導等の対応と職員の戦略強化の為、研修・自己啓発についてどのように実施・指導しているのか伺う。</p> <p>(4) 従業員 50 名以上の事業所で『ストレスチェック制度』が義務づけられているがどのように実施し、その結果をどのように職場の環境改善に努めているのか。現状について説明願う。</p> <p>2 今後の小中一貫教育について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>一体型義務教育学校とうべつ学園が開校して 3 年経過した。施設一体型教育と施設分離型教育の成果と課題について伺う。また、西当別地区の教育環境の改善が必要と思われるが、施設一体型教育学校の検討時期について見解を伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 当別町一体型義務教育学校とうべつ学園が開校して 3 年経過した。多くの行政視察を受け入れているが、どのような質問が多いのか伺う。</p> <p>(2) 当初、目標とした施設一体型教育の成果と課題はどのようになっているか伺う。</p> <p>(3) 西地区の施設分離型教育の成果と課題はどのようになっているか伺う。</p> <p>(4) 両地区の建設時期は 10 年の差がある。一貫校と西当別地区の教育環境が大きく異なっている。教室の広さ・机の大きさ・トイレの洋式化にかなりの差があり改善の必要があるが伺う。</p> <p>(5) 平成 30 年 8 月の基本構想の中で将来の子供の推移状況が整理されている。現状の実態は大幅に変化しているこの状況をどのように把握・理解しているか伺う。</p> <p>(6) 教育環境・児童生徒の増加等から西当別地区の施設一体型義務教育学校の検討を始める時期と思うが見解を伺う。</p>
----	-------	--

【計 6 人、3 時間 0 0 分（1 人 3 0 分計算）】